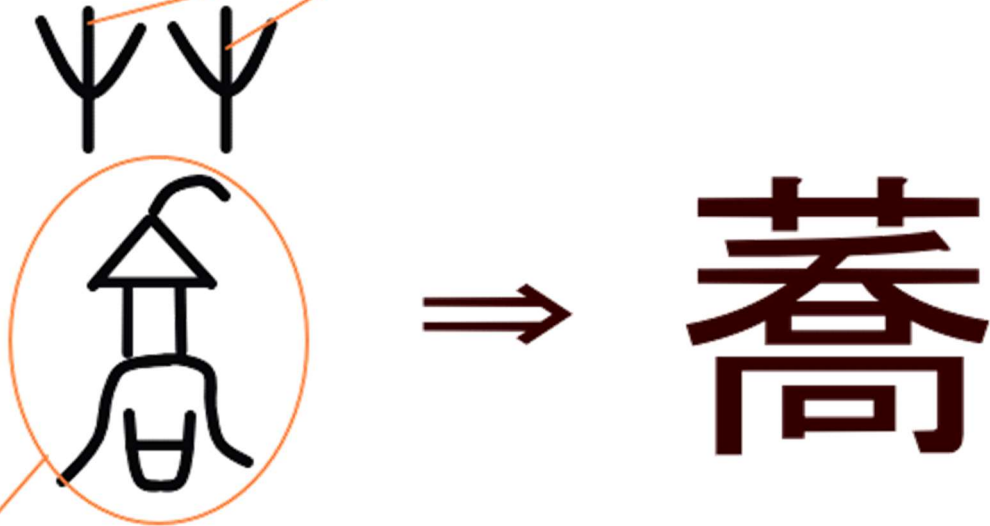


蕎麦の漢字の由来

「並び生えた草」の象形



「高い楼閣(立派な建物)の上に旗が立てられた」象形

蕎麦の「蕎」という字は、「とがったもの」とか「物のかど」を意味する「稜」が由来になっており、蕎麦の実が三角卵形で突起物になっているのが理由です。

また、蕎という字は草冠を除いた「喬」という字が「高い」という意味で、小麦と分けるために「背の高い麦」というような意味合いでこの漢字をあてたようですね。

最初は「ソバムギ」と読んでいたのですが、これが室町時代に入ると後ろの「ムギ」がなくなって「ソバ」という風に読まれるようになったのです。

室町時代というと、だいぶ蕎麦も一般的な料理になっている時代なので、それだけに目にしたり耳にする機会も多くなり、「ソバムギ」という呼称が長たらく、まどろっこしく感じるようになったのかもしれない。